

かすみがうら市子ども読書活動推進計画

平成26年

かすみがうら市教育委員会

I 計画の策定にあたって

今日、テレビ・ビデオ・インターネット等の様々な情報メディアの発達・普及や子どもの生活環境の変化、さらには幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。

平成24年5月に行われた、全国における子どもの読書冊数と不読率の調査によると、児童生徒の1か月の平均読書冊数は、小学校で10.5冊、中学校で4.2冊、1か月に1冊も本を読まなかった児童生徒の割合は、小学校で4.5%、中学校で16.4%、となっております。

[第58回学校読書調査（全国学校図書館協議会・毎日新聞社）より]

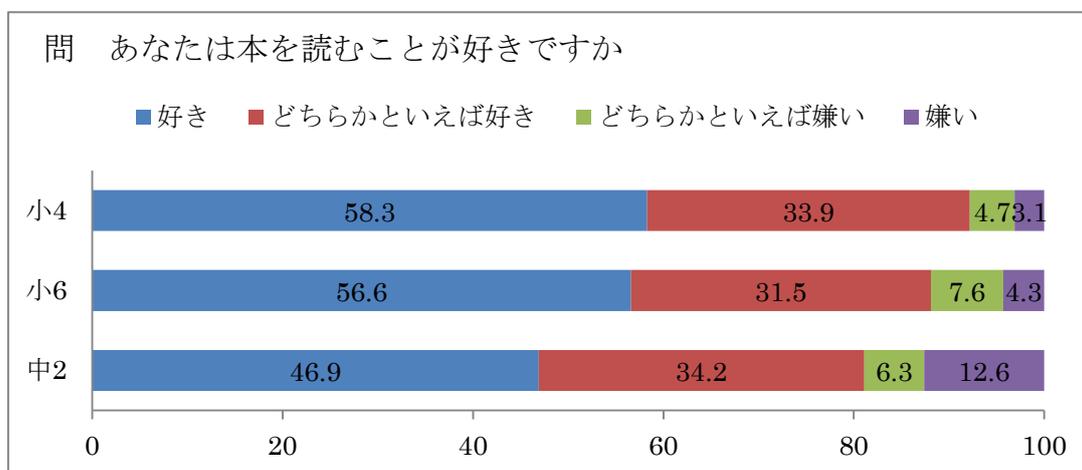
読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものであり、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要なことです。

かすみがうら市としても、子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備を推進することを基本理念として、施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、本計画を定めるものであります。

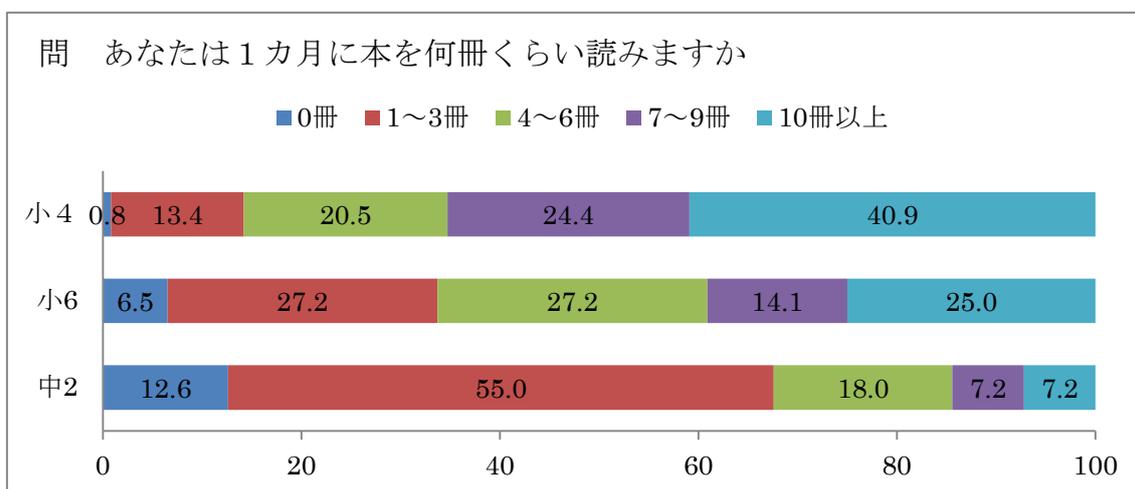
なお、本計画は、平成26年度からのおおむね5年間にわたる施策の基本的方向と具体的な方策を明らかにするものであります。必要に応じて計画の見直しを行います。

《かすみがうら市の状況》

平成25年12月に実施した『アンケート調査』で、「あなたは本を読むことが好きですか」の質問に、「好き」「どちらかといえば好き」と答えた子どもは小学4年生で92.2%、小学6年生で88.1%、中学2年生で81.1%になり、子どもたちの読書に対する関心や興味は高いことがわかります。



一方、1 か月間に読んだ本の冊数を聞いた質問には、小学生では 10 冊以上、中学生では 1～3 冊という回答が多く、全体としては 10 冊以上が 25.2%にとどまっています。また、1 冊も本を読まない児童・生徒の割合も小学生が 3.2%、中学生が 12.6%で、全体では 8.2%になっています。



アンケート結果から、学年が進むにつれて読書離れ、活字離れの傾向が認められ、「本を読む時間がない」「読みたい本がない」が主な理由になっています。中学生になると放課後は部活動に、余暇時間は学習塾や受験勉強などに当てられ、読書をする時間は著しく減少し、またゲームや趣味など多種多様な情報に触れる機会が増えていることが原因と考えられます。

子どもの読書活動を進めていくには、まず、読み聞かせや一緒に本を読むなど子どもが本に触れる機会をつくるのが大切です。幼児期、児童期、生徒期など子どもの成長段階や、一人ひとりを取り巻く状況や個性に応じて、その子どもにとってふさわしい本に出会い、読書に親しむ時間を持つことができる環境づくりが求められています。

Ⅱ 計画策定の基本的方針

1 目的

「かすみがうら市子ども読書活動推進計画」は、国において、「子ども読書活動の推進に関する法律」や、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が策定され、県においても「いばらき子ども読書活動推進計画」が策定されています。これに基づき、「かすみがうら市子どもの読書活動推進計画」を作成し、子どもの読書活動の推進に関する施策についての方向性や取組を示し、具体化することを目的とします。

2 基本方針

1) 子どもが読書に親しむ機会の提供の推進

子ども自身が読書の楽しさを知るきっかけを作り、その読書活動を広げ、読書体験を深め、子どもが興味を持ち、感動する本等を身近に整える施設、設備その他の環境の整備・充実に努めます。

2) 家庭、地域、学校における読書活動の推進

子どもの自主的な読書活動を推進するため、子どもの読書活動に携わる学校、図書館などの関係機関等が緊密に連携し、相互に協力を図り、子どもの自主的な読書活動の推進を図るよう体制の整備に努めます。

3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもの自主的な読書活動を支えるためには、子どもを取り巻く大人を含めて読書活動を推進する気運を高めることで子どもに自主的な読書への態度や読書習慣を身に付けさせ、子どもの自主的な読書活動を推進するために読書活動の意義や重要性について広く広報・啓発を進めます。

Ⅲ 子どもの読書活動の推進のための方策

1 家庭、地域における子どもの読書活動の推進

家庭は子どもが最初に本に出会い、読書の喜びを味わい、読書習慣を形成していく場です。子どもの健やかな成長のため、乳幼児期において、親子のふれあいのなかで、読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだりなど工夫して、読書の楽しさを体験させ、いつも身近にいる保護者が読書の重要性を認識し、子どもの読書活動について理解を深め読書の推進が図れるよう努めます。

また、地域においては図書館・児童館等の施設を親子のふれあいの場として、保護者が子どもと一緒に本を読んだり、日常のさまざまな体験とともに、ふれあいの場としたりするなど、自主的な読書活動を推進します。

具体的な取組

○ブックスタートの充実

4ヶ月の乳幼児健診時に、ボランティアによる絵本やコットンバックの配布をし、乳幼児から家庭における読み聞かせがなされるように保護者に理解を広めます。

○「家読（家庭での読書）」の推進

家庭で読書の習慣を共有し、家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す機会をもてるように、家庭への啓発活動を積極的に行います。

○「子ども読書の日」の推進

4月23日の「子ども読書の日」についての周知を図ります。家庭での読書の時間を充実させるとともに、図書館を中心として、地域でも読書に親しもうとする機運を高めます。

○ボランティアの育成と活用

図書館や児童館等での「読み聞かせ」や「おはなし会」等に親子で積極的に参加し、子どもの読書に対する興味を引き出すことができるような情報の提供を行います。

2 図書館における子どもの読書活動の推進

図書館は、子どもたちにとって、多様な本と出会い、読書の楽しみを通じて豊かな人間性を育む場であり、知りたいことを、自主的に調べることは、自ら学び考える機会となります。図書館では魅力ある蔵書の充実を図り、おはなし会やイベントを開催し、保育所や学校等へ団体貸出を通じて、子どもが本に親しむ機会の提供に努めるとともに、子どもの読書に関する講演会を開催したり、ボランティアを支援したりすることにより、子どもの読書活動を推進します。

具体的な取組

○図書館資料やサービスの充実

絵本や物語、調べ学習に役立つ本など魅力ある蔵書の充実を図り、乳幼児、児童、生徒の発達段階に添ったサービスや展示・配架などを工夫し、資料提供に努め、魅力ある図書館活動を推進します。

○おはなし会やイベントの充実

幼児から小学生を対象とした「おはなし会」や子どもと保護者を対象とした「読み聞かせ」や本の紹介などを定期的に行い、乳児期から本やおはなしの世界に親しみ、本の楽しさを知ってもらう活動に努め図書館に親しむ機会を提供します。

○団体貸出の充実

保育所や学校などに対して、図書館資料の貸出しを積極的に行います。また、子どもの読書に関わる活動をしている団体に対しても、図書館資料の貸出しを行い、本の選び方や子どもの読書活動に役立つ情報提供などの支援を行います。

○学校等との連携

児童・生徒の図書館職場体験や図書館見学を受け入れ、図書館の利用方法や読書の楽しさを知ってもらい、図書館に行くきっかけづくりを支援します。さらに、児童・生徒の調べ学習等で学校と情報交換を図り、図書館を有効に活用できるように努めます。

○子どもの読書に関する講演会・講座の開催

家庭の中で、親子が楽しみながら本を読むことの大切さを知ってもらえるように、また、子どもがより充実した読書活動を行えるように講演会や講座を開催します。

○人材の育成と活用

地域・保育所・学校などにおける子どもの読書活動を推進するため、活動の場等に関する情報提供や職員及びボランティアの研修を開催し、子どもの読書活動推進の担い手の育成に努めます。

IV 学校における読書活動の推進

学校では、子どもが本と親しみ、生涯にわたって読書を継続していく習慣を身に付けるよう、小学校・中学校等の発達段階に応じた子どもの自主的・意欲的な学習活動や、読書活動を支援します。家庭・地域・図書館・関係機関との連携を図りながら、各学校において魅力ある読書活動に取り組みます。

また、学校図書館は、子どもの多種多様にわたる興味や関心を充足させ、知的な刺激を与える場であるとともに、調べ学習を支える情報提供の場でもあります。その観点から、学校図書館の図書資料を充実させ、児童・生徒が多くの魅力ある図書と出会えるように努めます。また、子どもの読書活動の支援に意欲をもち学校図書館業務に対応できる人材を育成し、活用して、学校活動における図書館利用の充実に努めます。

具体的な取組

○各学校における魅力ある読書活動の推進

司書教諭を中心に各学校の特色や地域、児童・生徒の実態に即した読書活動を推進し、その充実に努めます。

○読書時間の充実

各学校で朝の読書や一斉に読書に取り組む活動を実施し、読書時間の充実に努めます。

○「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」への積極的な関わり

県では、「育てよう 楽しい読書で 豊かな心」をテーマに「みんなにすすめたい一冊の本推進事業」を行っています。この事業に積極的に関わり、児童・生徒の読書習慣の定着や豊かな心の育成に努めます。

○図書館活用の推進

職員の意識の高揚を図るとともに、各教科、領域において、積極的に調べ学習を取り入れ、学校図書館、市立図書館の利用を促進します。

○学校における読書環境の整備・充実

文部科学省が設定した「学校図書館図書標準」を基に毎年度計画的に子どもたちの知的好奇心を満たす魅力的な図書の増冊、整備を行います。また、各教科、領域での調べ学習に必要な図書資料の充実を図ります。

○学校図書館担当教諭及び司書教諭の研修の充実

学校に配置されている図書館担当教諭及び学校司書の研修を実施し、資質及び実践的能力の向上を図ります。

○学校図書館ボランティアの活用

学校図書館を活性化し、利用を促進するために、保護者や地域の人を「学校図書館ボランティア」として活用し、本と子どもの橋渡し役となるようにしていきます。

○関係機関との連携

小・中学校図書館担当教諭と、公共図書館職員との情報交換を行い、児童・生徒の読書環境の整備に努めます。

V 保育所・幼稚園における読書活動の推進

子どもが初めて集団生活を体験する保育所・幼稚園では、子どもの世界が大きく広がる時期に心の栄養となる絵本に出会うことが重要です。乳幼児に関わる職員を対象に講習や研修を行い、絵本に対する知識を深め、読み聞かせの技術の向上を図ります。

また、保護者に対して、家庭での読み聞かせの大切さや絵本を通しての子育ての楽しさを伝えるように努めます。

具体的な取組

○保護者に対する家庭での読み聞かせの奨励

保育だよりやクラスだよりなどで園での読み聞かせの様子を知らせたり、絵本の貸出しを行ったりするなど、保護者に対して、家庭での読み聞かせの大切さや絵本を通しての子育ての楽しさを伝えるよう努めます。

○保育所・幼稚園における絵本に親しめる環境づくりの充実

子どもの豊かな感性を育むために、子どもたちの心に響く読み聞かせの機会を増やし、よい絵本と出会う環境を充実します。保育所・幼稚園の絵本コーナーでは発達段階に合わせた絵本を紹介し、家庭で読み聞かせができるように情報の提供を図ります。

○職員への研修

乳幼児に関わる職員を対象に絵本に対する知識を深め、読み聞かせの技術を

向上するため、講習や研修を行います

VI 子ども読書活動を推進するための連携

子どもの読書活動を推進するためには、様々な機会を利用して理解と関心を図ることが大切です。

社会全体が読書に関心を持ち、子どもの発達段階や個性に応じた自主的な読書活動を支えていくために、関係機関が情報を密にし、連携することが必要です。

連携の方法

○保育所・幼稚園との連携

- ・団体貸出の推進
- ・保護者への読書推進の啓発活動
- ・図書館見学、訪問の受入れ
- ・保育所・幼稚園でのおはなし会の実施
- ・保育所・幼稚園との連絡会の開催

○小学校・中学校との連携

- ・団体貸出の推進
- ・本に関する情報や図書館利用等の情報発信
- ・職場体験学習の受入れ
- ・学校図書館と市立図書館との連絡会や研修会の開催
- ・レファレンス、所蔵調査への支援
- ・学校でのおはなし会への支援

○図書館ボランティア・読書ボランティア等との連携

- ・子どもの読書に関する団体のネットワーク体制づくり
- ・ボランティアの研修機会の情報提供

○県立図書館・他公共図書館等との連携

- ・県立図書館を始めとする他の公共図書館と連携をとり、資料相互貸借の充実や効率的な資料の提供の推進
- ・職員、ボランティアの研修機会の情報提供

参 考

アンケート調査は小学校4年生では、下大津小学校、美並小学校、志筑小学校、新治小学校、下稲吉小学校の児童127名に実施しました。

小学校6年生では牛渡小学校、佐賀小学校、七会小学校、上佐谷小学校、下稲吉東小学校の児童92名に実施しました。

中学2年生では南中学校、北中学校、千代田中学校、下稲吉中学校の生徒111名に実施しました。

アンケート調査集計

問2 あなたは本を読むことが好きですか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア 好き	58.3%	56.5%	46.9%
イ どちらかといえば好き	33.9%	31.5%	34.2%
ウ どちらかといえば嫌い	4.7%	7.6%	6.3%
エ 嫌い	3.1%	4.3%	12.6%

問3 あなたは本を読むことが大切だと思いますか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア 大切だと思う	69.3%	64.2%	45.1%
イ どちらかといえば大切だと思う	23.6%	29.3%	35.1%
ウ あまり大切だと思わない	5.5%	4.3%	8.1%
エ 大切だと思わない	1.6%	2.2%	11.7%

問4 あなたは本をよく読むほうですか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア よく読む	49.6%	47.8%	32.4%
イ ときどき読む	36.2%	34.8%	40.6%
ウ ほとんど読まない	12.6%	12.0%	17.1%
エ 読まない	1.6%	5.4%	9.9%

問5 問3の質問で、「アよく読む、イときどき読む」を選んだ人だけ教えてください。どんな理由からですか。あてはまるものを選んでください。いくつ選んでもかまいません。			
	小学4年	小学6年	中学2年
ア たのしくおもしろいから	69.7%	64.5%	55.6%
イ しらないことがわかり、ためになるから	57.8%	40.8%	22.2%
ウ 考える力がつくから	26.6%	23.7%	16.0%
エ 好きな作家やシリーズがあるから	33.9%	44.7%	60.5%
オ 先生やお家の人すすめるから	4.6%	2.6%	6.2%
カ その他（映画が好き、読書の時間がある、漢字が分かる）	2.8%	7.9%	8.6%

問6 問3の質問で、「アよく読む、イときどき読む」を選んだ人だけ教えてください。あなたは、どんな本をよく読んでいますか。2つまで選んでください。			
	小学4年	小学6年	中学2年
ア 小説や物語	70.6%	67.1%	90.1%
イ 伝記（社会の役に立った人のお話）	17.4%	27.6%	6.2%
ウ 科学の読み物	11.9%	13.2%	7.4%
エ 歴史物語	20.2%	25.0%	8.6%
オ 図鑑	15.6%	13.2%	6.2%
カ 趣味やスポーツ	19.3%	13.2%	22.2%
キ その他（映画の本、ホラー、ゲーム小説）	2.8%	6.6%	7.4%

問7 問3の質問で、「ウほとんど読まない エ 読まない」を選んだ人だけ教えてください。どんな理由からですか。あてはまるものを選んでください。いくつ選んでもかまいません。			
	小学4年	小学6年	中学2年
ア 読みたい本がない	44.4%	50.0%	23.3%
イ どんな本を読んだらいいかわからない	22.2%	12.5%	16.7%
ウ 読む時間がない	27.8%	25.0%	13.3%
エ おもしろくない	16.7%	25.0%	23.3%
オ 読まなくてもこまらない	5.6%	0.0%	26.7%
カ 本を読むのが嫌い	16.7%	31.3%	26.7%
キ その他（めんどくさい、眠くなる、買う機会がない）	5.6%	6.3%	16.7%

問8 あなたは1カ月に本を何冊くらい読みますか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア 10冊以上	40.9%	25.0%	7.2%
イ 7～9冊	24.4%	14.1%	7.2%
ウ 4～6冊	20.5%	27.2%	18.0%
エ 1～3冊	13.4%	27.2%	55.0%
オ 0冊	0.8%	6.5%	12.6%

問9 あなたは、小さいころ、お家の人に本を読んでもらったことがありますか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア よく読んでもらった	55.1%	43.5%	20.7%
イ ときどき読んでもらった	26.8%	28.3%	33.3%
ウ 読んでもらわなかった	2.4%	5.4%	5.4%
エ おぼえていない	15.7%	22.8%	40.5%

問10 問9の質問で、「アよく読んでもらった イときどき読んでもらった」を選んだ人は、おもに誰に読んでもらいましたか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア 父親や母親	71.2%	75.8%	78.3%
イ 家族の人(おじいちゃん・おばあちゃん、兄や姉など)	28.8%	24.2%	21.7%
オ その他	0.0%	0.0%	0.0%

問11 あなたは、本を読んだり借りたりするため、学校の図書室へ行きますか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア よく行く	25.2%	14.1%	9.0%
イ ときどき行く	51.2%	43.5%	25.2%
ウ ほとんど行かない	18.1%	20.7%	27.9%
エ まったく行かない	5.5%	21.7%	37.9%

問12 あなたは、本を読んだり借りたりするため、かすみがうら市立図書館(本館、分館)へ行きますか。	小学4年	小学6年	中学2年
ア よく行く	18.1%	7.6%	4.5%
イ ときどき行く	28.3%	34.8%	24.3%
ウ ほとんど行かない	26.8%	26.1%	27.0%
エ まったく行かない	26.8%	31.5%	44.2%

